

第52回 全国学童保育研究集会 in 兵庫

速報こうのとり



第5号

2017年11/4(土)全体会@神戸国際展示場
11/5(日)分科会@神戸国際会議場ほか発行：全国研in兵庫 実行委員会
E-mail 52zenkokukuenhyogo@gmail.com
Facebookページ
<https://www.facebook.com/zenkokukuenHYOGO/>

全国研二日目は一日かけての分科会

今回兵庫で新しく分科会を4つ提案しました

①第2分科会

「障害のある子どもにとっての学童保育B」

助言者：千歳歎

兵庫県の研究集会ではお馴染みの先生です。障害児の保育について、保護者も指導員も子どもの成長を見守りながら、日々奮闘し子育てや保育をしています。しかし、本当にその子にとって成長をうながす事につながっているのか?

振り返ると不安や反省ばかり。でも、そんな悩みに寄り添いながら、切れ味抜群の助言、保護者・指導員の力強い援助者です。そんな先生を交えての実践交流会です。



参考者の声

今、見てている子どもたちで、発達障害の子を見てるので、話を聞かせていただきたいなど思いました。

お話を聞いていると、たくさんの子どもたちが頭に浮かんで、次、同じようなケースがあった時に、こういう対応を試してみたいなど思うことを色々聞かせて頂きました。

(兵庫県 宝塚市 指導員)

授の視点から考えると、保護者に寄り添う場面も必要となります。そのあたりと一緒に考え、学び合いたいと思いま



に向かって進む必要がありました。そんな神戸の復興の足取りを体感してください。

2日目保育室

2日目の保育室には初日を超える大勢の子ども達が過ぎしていました。

参考者の声



参考者の声

参考者の声

参考者の声

参考者の声

参考者の声

参考者の声

埼玉県 二年生 男子
「ドッジ勝った!」
兵庫 一年生 女子
「ペットボトルの水槽たのし」
東京 五年生 男子
「全部よかったです。」

参考者の声



参考者の声

参考者の声

今日の出会いを明日の力に 来年は神奈川で会いましょっ

神奈川県学童保育連絡協議会 会長 小神 長次

会場をびっしりと埋め尽くした
4000余の人々。きらきらとした
目が感動で潤んでいます。

素晴らしい成功を収めた兵庫の
興奮を神奈川に引き継ぎたいと思
います。すでに来年の開催に向
て実行委員会をつくり取り組み始
めています。

全児童施策と学童保育を一體的
に実施している政令市を抱える神
奈川県での開催は、新制度のもと
で子どもたちに豊かな放課後を保
障する学童保育の確立のために大
切な位置付けとなるでしょう。大

きく成功させ、行政施策を改善さ
せる重要な全国研となるようしつ
かり取り組みたいと思います。今
日の出会いを明日の力に。来年は
神奈川でたくさんの笑顔で皆さん
をお迎えしますので、ぜひ来てく
ださい!



全国研で得た学び・つながりを糧に よりよい学童保育をつくりましょっ

第53回全国学童保育研究集会でお会いしましょっ!!

全国学童保育連絡協議会 事務局長 高橋 誠



今年も、全国各地から4032
名の保護者・指導員など学童保育
の仲間たちが全国研に集いました。

第52回全国学童保育研究集会を盛
り終えることができたのは、一
人ひとりが主体者としてこの全国
研に参加し、仲間たちとともに全
国研をつくりあげることができた
からだと思います。

全国研開催にあたり、各地域の
みなさんは、全国研の意義を確
かめあいながら、取り組みをすす
めていただきました。特に開催地
である兵庫のみなさんにおかれま
しては、2日目の分科会の会場が
6か所に分かれるというこれまで

私たちが経験したことがない状況
の中でも、円滑な分科会の運営に
のぞみました。あわせて、特設分科会「災害と学童保育」分
科会として、「阪神・淡路大震

災」から22年を経て、神戸市内を
めぐり、当時の状況や、都市計画
のあり方、復興のあり方などにつ
いて学び・考えるフィールドワー
クを開催することができました。

6年ぶりの関東での開催です。今
年出会えた仲間に新たな仲間を迎
え、仲間の輪をひろげ、またみな
さんとお会いできることを楽しみ
にしております。

学童保育の役割を果たすために、
各地域で抱える悩みや課題をだし
めています。

ありがとうございました。

と思っております。

さて、来年の第53回学童保育研
究集会は、神奈川県で行われます。

そして、2日間お疲れ様でした。
ありがとうございました。あなたのとつての全国研は、
とても大きった方がいい。皆様の
ご協力のもとで発行することが
出来ました。ありがとうございます。
ありがとうございました。インターネット
に応じて下さった方、感想を寄
せてくださった方がいい。皆様の
ご協力のもとで発行することができます。
ありがとうございました。ありがとうございます。
そして、2日間お疲れ様でした。
あなたとつての全国研は、
どのようなものでしたか。感動、
気つき、出会い、元気をもつ
たりと、いろんな体験をされた
のではないでしょうか。それぞ
れの地域に戻られてからも、こ
の体験を、学童保育を前進させ
る活動の力に変えていただけた
らと思います。



編集後記

全国研に参加された皆さまへ
速報を読んでくださって、あり
がとうございました。記事を書
いてくださった方、インタビュー

